【学力向上フロンティアスクール用中間報告書様式】（中学校用）

都道府県名	大阪府

Ⅰ．学校の概要（平成１５年４月現在）

学校名	東大阪市立　意岐部中学校					
学　年	１年	２年	３年	特殊学級	計	教員数
学級数	3	3	3	2	１１	
生徒数	８９	８７	９４	2	２７２	２７

Ⅱ．研究の概要

１．研究主題

基礎・基本の学力の確実な定着と確かな学力向上をめざす学習のススメ
～生徒個々の学習の理解や習熟の程度に応じた「きめ細かな指導」を充実させ、
基礎・基本の学力の確実な定着と「確かな学力」の向上をめざして…

２．研究内容と方法

（１）実施学年・教科

１・２・３年生　国語（学習理解において基本となる読解力を身につける教科であり、本校生徒に必要とされるコミュニケーション能力を高めるのに有効な教科である。理解と習熟の程度に個人差が現れやすい教科であり、学校としても研究実績がある。また、今後必要とされていく情報整理能力やプレゼンテーション能力を高めるのに有効な教科である）

１・２・３年生　英語（ＡＥＴを活用してのＴ・Ｔ授業の実績があり、社会からも要求されている英語でのコミュニケーション能力を身につけるのに有効である。理解と習熟の程度に個人差が現れやすい教科であるが、生徒の学習年数を考えると、つまずき取り返しやすい教科である。また、地域の教育力を活用し、より応用的な会話能力の習得も可能である）

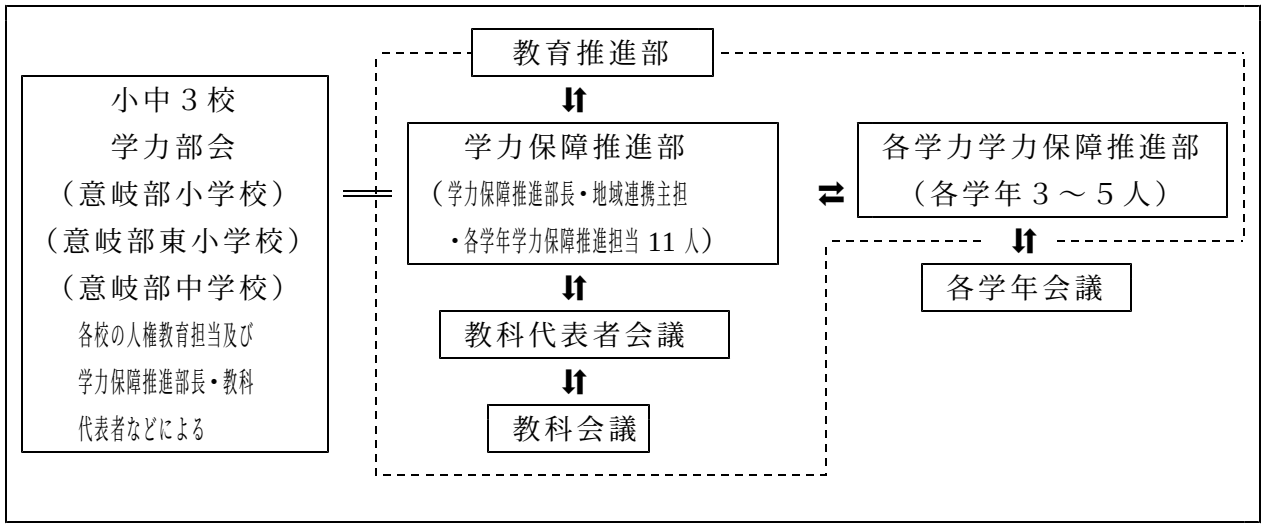
２・３年生　数学（理解と習熟の程度に個人差が現れやすい教科であり学校としての研究実績がある。課題別や習熟度別の教材や班編制が行いやすく、少人数授業の効果が現れやすい教科である。また、コンピュータを積極的に取り入れた授業展開を追求できる教科でもある）

２・３年生　理科（少人数で実験を実施し、生徒の課題意識によって実験内容を変化させたり、個々の生徒が実験等に主体的に関われる教科である。生徒の興味や関心に応じて、課題を選択させたり、日常生活とつなげた授業内容の展開がしやすい教科である）

（２）年次ごとの計画

平成14年度	○テーマ　　「個に応じた授業展開とは」 ○研究の見通し（仮説） ・生徒の活動場面を多く作り出せば、生徒個々の学力実態が見えやすくなる。 ○研究の内容・方法 ・１時間の授業展開の中に、一人ひとりの生徒が大切にされていると感じられる場面を作る。 ・個に対応できる教材を工夫する。
平成15年度	○テーマ　　「理解や習熟の程度に応じた授業展開とは」 ○研究の見通し（仮説） ・単元によって課題別、習熟別の班編制で授業を行えば、理解が進む ○研究の内容・方法 ・授業の流れの中に、課題別、習熟別の課題を設定し、授業を展開する。 ・学力実態を把握するための小テストを適宜導入する。
平成16年度	○テーマ　　「確かな学力向上をめざした学習指導とは」 ○研究の見通し（仮説） ・小・中学校での９カ年を見通した系統的なカリキュラムは、学力の定着に有効である ・指導と評価の一体化は、学力向上に有効である ○研究の内容・方法 ・いきいきスクールを発展させ小・中の学習内容の連携を深める。 ・わかりやすい通知票や生徒の自己評価方法を検討する。

（３）研究推進体制



Ⅲ．平成１５年度の研究の成果及び今後の課題

１．研究の成果

・少人数分割授業を実施した理科の実力テストの得点分布において、得点下位のグループの成績向上が見られた。
・少人数分割で習熟度別授業を実施後、その単元の正答率が高まった。
・少人数分割で習熟度別授業を実施することにより、８５％の生徒が「より意欲的に取り組める」ようになり、７０％の生徒が「より分かりやすく」なった。
・少人数分割で課題別授業を実施することにより、６７％の生徒が「より意欲的に取り組める」ようになった。

２．今後の課題

・教材開発
　個に対応できる工夫(教具、教材プリント、ヒントカード、などの工夫)
　板書方法の工夫（色の使い方、語句や図の配置、板書カードなどの利用）
　参加が難しい生徒を授業に引きつける工夫（発問、課題教材などの工夫）
・教室環境の整備（授業形態ごとの柔軟な机配置、分割教室の掲示物利用など）
・分割クラスの編成方法の工夫（構成メンバーの配慮、構成時期）
・教科担当者会議の打ち合わせ時間の保障

Ⅳ．学力把握のための学校としての取組

・全学年で国語・数学・英語の基礎学力テストを実施（年１回）
・定期的な学力テストの実施（３学年５回、１，２学年１回）
・各教科が単元終了時に適宜実施する確認テスト

Ⅴ．フロンティアスクールとしての研究成果の普及

・中河内地区授業改革実践交流会（平成１５年１２月２４日）
　場所：中河内府民センター　　対象：中河内地区の小中学校教員
・地区協議会における公開授業（平成１５年１１月２１日）
　場所：意岐部中学校　　対象：中河内地区の小中学校教員
　内容：国語、数学、英語、理科の少人数分割授業を公開し、参加者との意見交流を行い、大谷女子大学　西川信廣教授に指導講評して頂く。
・本校独自の公開授業（各教科とも学期に１回以上、意岐部中学校で実施）
　対象：東大阪市内の小中学校教員
　内容：国語、数学、英語、理科の少人数分割授業の様子を公開する。